

# 課題調査

## 第 I 部 調査の概要



## 1 調査の目的

県政の直面する重要な課題や県民生活に関するテーマにおける県民ニーズを把握し、今後の行政施策の展開に資することを目的とする。

## 2 調査内容

- (1) 環境に配慮した生活
- (2) 生物多様性
- (3) 3R
- (4) 神奈川県 of 農業
- (5) 食・食育
- (6) ヘルスケア I C T の取組
- (7) 障がいや障がいのある人への理解
- (8) 「手話」への興味・関心
- (9) 犯罪被害者等の支援
- (10) 男女共同参画社会
- (11) 県民の声・相談室

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000標本
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布及び回収
- (6) 調査期間 平成28年10月7日（金）～10月31日（月）
- (7) 調査機関 株式会社 綜研情報工芸

## 4 回収結果

- (1) 全体の回収結果

標本数	3,000標本
有効回収数	1,313標本
有効回収率	43.8 %

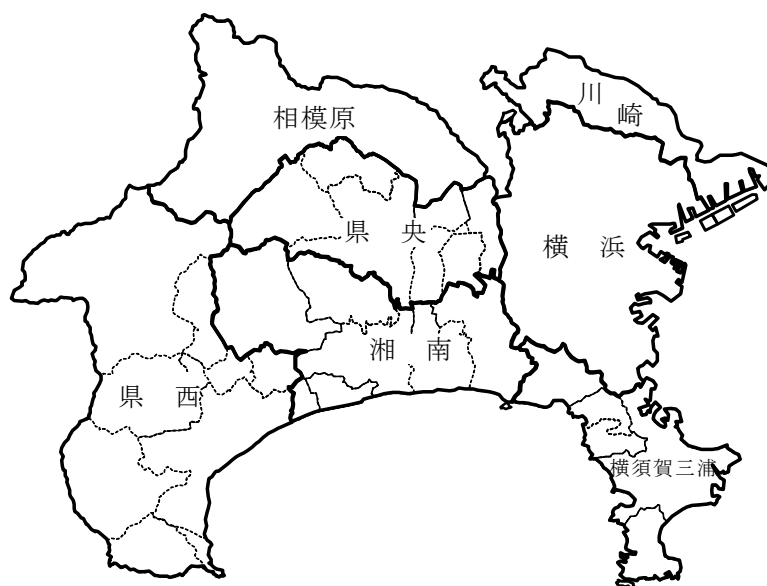
(2) 地域別の回収結果

地 域		設計標本数	有効回収数	有効回収率
横浜	横浜市	1,180	495	41.9%
川崎	川崎市	460	179	38.9%
相模原	相模原市	240	114	47.5%
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	260	136	52.3%
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	300	127	42.3%
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	440	188	42.7%
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	120	59	49.2%
無 回 答			15	
全 体		3,000	1,313	43.8%

5 標本の抽出方法について

- ① 県内を7地域に分類し、さらに各地域を人口規模によって層化した。
- ② 各地域・人口規模別の層における18歳以上の人口（平成27年1月1日現在の推計値）により、3,000標本を比例配分した。
- ③ 比例配分した標本数を20（1地点あたりの標本数）で除し、地点数を算出した。

地域区分図



## 地点数及び標本配分

地域	人口50万人以上の市	人口50万人未満の市	町 村	計
横 浜	3,110,617人 59地点 1,180標本	-	-	3,110,617人 59地点 1,180標本
川 崎	1,222,913人 23地点 460標本	-	-	1,222,913人 23地点 460標本
相模原	608,666人 12地点 240標本	-	-	608,666人 12地点 240標本
横須賀三浦	-	583,942人 12地点 240標本	27,078人 1地点 20標本	611,020人 13地点 260標本
県 央	-	667,727人 14地点 280標本	36,849人 1地点 20標本	704,576人 15地点 300標本
湘 南	-	993,703人 20地点 400標本	91,876人 2地点 40標本	1,085,579人 22地点 440標本
県 西	-	201,686人 4地点 80標本	96,852人 2地点 40標本	298,538人 6地点 120標本
人口計	4,942,196人	2,447,058人	252,655人	7,641,909人
地点数計	94地点	50地点	6地点	150地点
標本数計	1,880標本	1,000標本	120標本	3,000標本

※ 人口数は、「神奈川県県年齢別人口統計調査（平成27年1月1日現在）」（県統計センター）をもとに、18歳以上の各市区町村の人口を積算したものである。

## 6 集計・分析にあたって

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (2) 標本数「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者数を表す。
- (3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例えば、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》と表現している。）また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (6) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差をとり、「・・・ポイントの差」と記載した。
- (7) 男女の18～19歳などサンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (8) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

## 7 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と異なることがある。これを標本誤差という。

層化二段無作為抽出の場合、信頼度 95% のときの標本誤差は次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差  
 $N$  = 母集団数  
 $n$  = 回答者数  
 $P$  = 回答比率

上の式により、回答者数 (n)、および回答比率 (P) ごとに信頼度 95% のときの標本誤差 (%) を計算すると、おおよそ次表のとおりとなる。

回答比率 (P) \ 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,313	± 2.34	± 3.12	± 3.58	± 3.82	± 3.90
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数 (n) が 1,313 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60% であった場合、その回答比率の誤差は 95% の信頼度で、±3.82% 以内（真の値は、56.18%～63.82%）である」とみることができる。

## 8 回答者の属性

(1) 居住地域 (n=1, 313) (%)

横浜	37.7
川崎	13.6
相模原	8.7
横須賀三浦	10.4
県央	9.7
湘南	14.3
県西	4.5

(無回答 1.1)

(2) 性別 (n=1, 313) (%)

男性	47.4
女性	51.0

(無回答 1.6)

(3) 年齢 (n=1, 313) (%)

18～19歳	1.2
20～29歳	9.1
30～39歳	15.2
40～49歳	17.9
50～59歳	18.0
60～69歳	20.6
70～74歳	7.3
75歳以上	9.6

(無回答 1.1)

(4) 結婚の有無 (n=1, 313) (%)

未婚	20.0
既婚 (配偶者あり)	69.2
結婚していたが、離別・死別した	10.2

(無回答 0.6)

(4-1) 配偶者の職業 (n=909) (%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	8.7
	家族従業者	2.5
勤め・内職	勤め(フルタイム)	32.6
	勤め(パートタイム)	17.1
	内職	0.3
学生		0.0
無職		15.4
その他		0.7

(無回答 1.8)

(5) 子どもの状況(複数回答) (n=1, 313)

小学校入学前	11.0
小学校在学中	9.4
中学校在学中	5.9
高校在学中	5.7
短大、専門学校等在学中	1.4
大学、大学院等在学中	5.0
学校教育終了[未婚]	20.9
学校教育終了[既婚]	26.7
その他	2.9
子どもはいない	30.5

(無回答 4.1)

(6) 家族形態 (n=1, 313) (%)

一人暮らし(単身世帯)	11.8
夫婦のみ(1世代世帯)	29.2
親と子の世帯(2世代世帯)	45.3
祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	5.9
その他の世帯	5.4

(無回答 2.4)

(7) 育児または介護のための離職経験 (n=1, 313) (%)

育児介護両方のために離職したことがある	1.5
育児のために離職したことがある	14.2
介護のために離職したことがある	3.4
育児や介護のために離職したことはない	71.9

無回答 ( 9.0)

## (8)職業区分 (n=1,313)

(%)

## (8-1)有職者の職業内容 (n=793)

(%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	6.2	自営業主・ 家族従業者	農林水産業	0.9
	家族従業者	1.9		商工サービス業	6.9
勤め・内職	勤め(フルタイム)	37.9	勤め・内職	自由業	4.7
	勤め(パートタイム)	14.3		経営・管理職	7.2
	内職	0.1		専門・技術職	19.7
主婦・主夫(勤めについていない)	16.0	勤め・内職	事務職	22.1	
高校生	0.0		教育職	5.4	
学生	2.7		技能・労務職	9.3	
無職	15.8		販売・サービス職	21.3	
その他	1.0		無回答 (	2.5)	

(無回答 4.1)